

建交労 かながわ

発行 建交労神奈川県本部機関紙部
〒 231-0025
横浜市中区松陰町2-7-17
リバーハイツ石川町304
☎ 045-662-2340
FAX 045-641-5453
Email ctg-kana@jasmine.ocn.ne.jp

安倍9条改憲NO!

秋季年末闘争勝利!

共同行動を大きく広げ、平和と暮らしを守ろう!

建交労11・8中央行動

秋季年末闘争の最大の結節点として取り組まれた建交労11・8中央行動は、全労連・国民春闘共闘、交運共闘などによる中央行動と結合し、全国の職場、業種、地域から多くの組合員が参加しました。国土交通省前で10時30分から始まった交運共闘による行動には建交労や自交総連、国公労組などの仲間が結集。

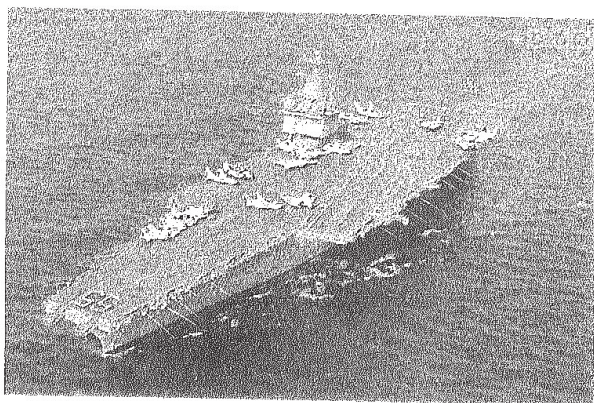
安倍政権による暴走政治は許さない!

鉄道、トラック、ダンブ、タクシ、港湾、公務など、各業種における安全・公共性確保、労働条件改善での個人請願を行うとともに、各労組から決意表明が行われました。

澄み渡った秋空のもとに参加者たちのシュプレヒコールがこだまする



原子力空母はいらない! 10・14横須賀集会



全国各地から結集した2,000名を超えた仲間、安倍政権が強行する労働者・国民の雇用と生活破壊をはじめ、沖縄辺野古基地建設や、原発再稼働、憲法9条改悪など、国民の安全と憲法を無視した暴走政治に抗議し、国民主権。基本的人権の尊重を目指す政治への転換を求めて終日行動を展開しました。

神奈川県南支部から3名が参加

10月14日午後1時“原子力空母はいらない!”横須賀集会”が横須賀市内のヴェルニー公園において開催され、神奈川県外を含め1800人が参加しました。集会後に市内を元気にパレードしました。

建交労鉄道神奈川地方本部 第20回定期大会開催

10月21日、労働プラザにおいて開催された大会では、組合員の現況報告やこれからのたまたかいの方針について熱心に討論が行われました。

大会議長に大岩氏が選出された後、冒頭、原田委員長は、18春闘では宮城地本のJR貨物職場でストライキに立ち上がり、全国の仲間

に安倍暴走政治を許さない、JRの安全無視。国民。利用者無視の経営方針に断固として立ち向かっていくことを宣言した。

活動方針の提案には佐々木書記長が、組織の現状は平均年齢が64歳と高齢化が進む中、JR本体の組合員は

国民。利用者に安全。安心なJRを

JRでは山陽新幹線の台車に亀裂が生じたまま走行した重大問題や京浜東北線の架線切

断事故、新潟では雪害

による列車の長時間立ち往生など、コスト削減や外注化の問題が大きな要素であると指摘し、いま組織の拡大。強化が喫緊の課題になっていると強調し、要求を基礎に幅広い労働者との対話を進めていこうと挨拶しました。

いるのは環境アクセスの労働者で、発生する様々な事象を利用者視点でとらえていると報告。

「問題は現場で起きる」をキーワードにその視点を「無駄にしない」「無駄にさせない」要求の多数派に向けて取り組みを強化していこうと提案しました。

神奈川県南支部は、11月11日(日)に川崎市教育文化会館に於いて第25回定期大会を開催しました。大会には13分会のうち10分会から代議員。役員合わせて23名と来賓2名の合計25名が出席しました。

開会挨拶を行った齋藤副委員長は、安倍政権による国民いじめの悪政を告発し労働者。つづいて来賓として挨拶に立った神奈川県本部の伊藤委員長も組織の拡大。強化を呼びかけるとともに要求闘争や争議の早期解決に向けた運動の重要性などについて強調しました。

復職を目指す

決意が

討論ではトップを切

神奈川県南支部第25回定期大会を開催

つて味の素物流班の畠野代議員が、自らが運転職への復職をめざすたたかいに寄せられた仲間の支援に感謝を述べるとともに、引き続き運転職復職をめざして奮闘する決意を表明しました。

このたたかいは団体の交渉に介入して三昭運輸の労使関係を決定的に分断し、労働組合活動を妨害し続けている悪質な社会保険労務士を排除するために日本共産党の高橋千鶴子衆議院議員にも力を借りて、たたかひの展望を切り開きつつあることなども示して全分会

闘争勝利に向けて

三昭運輸分会からは小澤代議員が県労委で

最後は田中製菓分会を代表して佐藤委員長が、組合結成から40年が経過して職場では新たな仲間を獲得する必要性が差し迫っている現状を報告し支部の仲間と共に奮闘する決意を表明しました。今後1年間の飛躍を誓う佐藤委員長の発声による団結ガンバロウで幕を閉じました。